

資料 2

<訓練名称>

令和5年度秋田県災害医療コーディネート研修

<訓練目的>

県保健医療調整本部と地域保健医療調整本部等の情報共有訓練

<訓練実施日>

令和5年7月2日（日）

<訓練想定>

6月30日（金）

北東北地方日本海側で断続的な大雨が続く。

7月1日（土）

米代川流域に線状降水帯が発生し、観測史上最多となる雨量を記録。

同15時

米代川が氾濫危険水位に到達する見込となったため、流域住民に避難指示が発令。

7月2日（日）5時

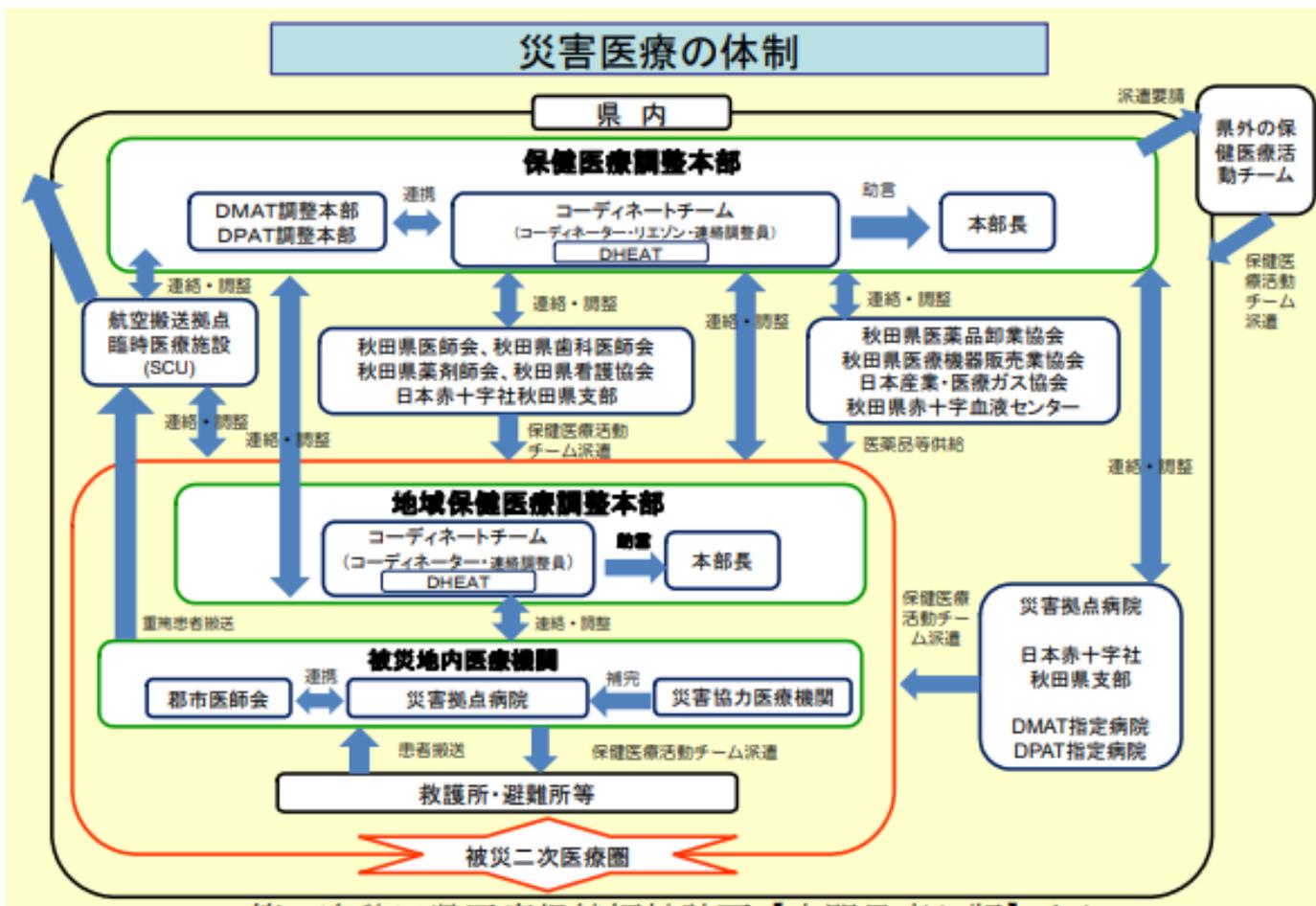
県災害対策本部等設置。県保健医療福祉調整本部と能代・山本保健医療福祉調整本部は災害医療コーディネーターの参集を依頼。コーディネーターが参集し、訓練スタート。

<訓練参加者>

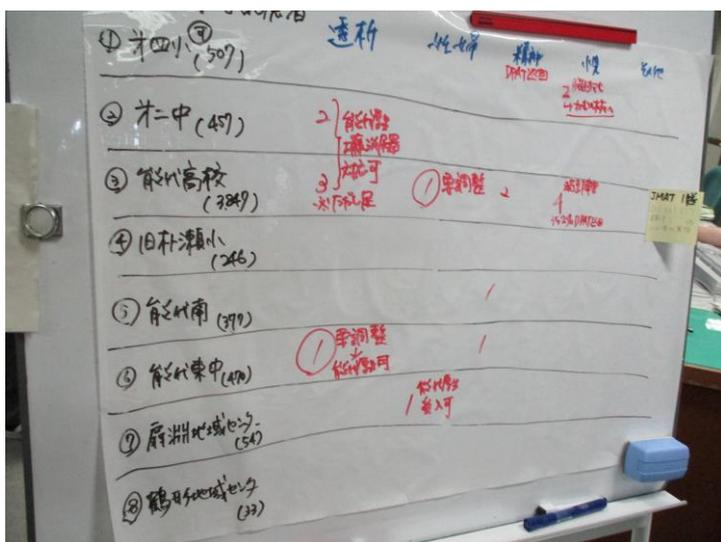
役割	参加者	
県保健医療調整本部 (県災害対策本部 役)	<u>県医務薬事課</u>	<u>県災害医療コーディネーター</u>
県医師会災害対策本部	<u>県医師会</u>	
能代・山本 保健医療福祉調整本部 (能代市災害対策本部 役)	<u>能代保健所</u>	<u>地域災害医療コーディネーター</u>
(支援チーム(JMAT) 役)	※ 研修運営による情報付与のみ	
	※ 研修運営による情報付与のみ	

<訓練概要>

- ・ オンライン会議システム（teams）により、県庁と保健所をリアルタイムでつなぎ、机上訓練を実施した。なお、今回の訓練ではE-MIS（※）の使用は省略された。
- ・ 訓練は実災害を想定し、被災に係る状況はほぼ全てブラインドで行われ、研修運営より都度新しい情報が付与された。
- ・ 『能代・山本保健医療調整本部』は『能代市災害対策本部』等（※研修運営）から避難所情報（避難者の数、要配慮者の状況、インフラの状況）等入手し、入手した情報は、『県保健医療調整本部』と共有する。共有した内容に基づき、必要と考えられる支援（支援チームの派遣等）を手配する、といった流れを繰り返した。



第7次秋田県医療保健福祉計画【中間見直し版】より



令和5年7月14日から発生した大雨災害による

「能代山本地域保健医療調整本部」の設置について

7月14日～16日にかけて県内は広い範囲で大雨となり、白神山地や太平山地付近を中心に激しい雨や非常に激しい雨となった。

7月15日（土）11:00

山本地域保健医療調整本部設置。立ち上げ報告

管内被害状況把握：振興局（地域災害対策本部）、市町災害対策本部

- ・医療機関や福祉施設等の被災状況、医療・保健に関するニーズ確認
- ・避難所開設の状況把握
- ・県保健医療調整本部と情報共有、会議による全県の状況の把握



7月16日（日）～7月20日（木）情報収集継続

特に緊急を要する医療ニーズはなかった。

7月20日（木）15:00

山本地域保健医療調整本部 解散



【災害時の福祉環境部の支援活動について】

7月22日(土)

能代市で床上浸水約 100 戸へ保健師による訪問実施に福祉環境部 2 名保健師派遣

7月豪雨災害時の秋田県保健師の応援派遣

- ・五城目町避難所巡回相談のため秋田中央保健所へ応援派遣
計 12 日間 延べ 15 名の保健師を全県福祉環境部から派遣
※山本地域振興局福祉環境部から 2 日間 延べ 3 名
- ・五城目町被災者宅戸別訪問による健康調査へ派遣
計 2 日間 延べ 17 名の保健師を全県福祉環境部から派遣
※山本地域振興局福祉環境部から 1 日 2 名

令和 6 年能登半島地震にかかる秋田県の保健師等の応援派遣

派遣先：石川県金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」1. 5 次避難所

派遣時期：1 月 10 日～3 月 31 日予定 各班 7 日間

派遣数：18 班 計 72 名

※山本地域振興局福祉環境部 3 名

- 能代市 1 名
- 三種町 1 名

